

労働者健康福祉機構 平成23年度業務実績参考資料

◎個別病院ごとの診療機能等・・・・・・・・・・1

◎各労災病院の特徴と政策的役割・・・・・・・・・・5

独立行政法人 労働者健康福祉機構

個別病院ごとの診療機能等

	承認 病床数	主な指定・届出等の状況(平成24年6月1日現在)						
		DPC 対象 病院	一般病棟入院基本料		地域医療 支援病院	がん診療 連携拠点 病院	災害拠点 病院	アスベスト 疾患セン ター(◎ブロック センター)
			7対1	10対1				
道央せき	157			○				
道 央	312	○		○				◎
釧 路	500	○		○		○		○
青 森	474	○	○		○			
東 北	553	○	○		○	○	○	◎
秋 田	250			○				
福 島	406	○	○		○	○		
鹿 島	300	○		○			○	○
千 葉	400	○		○	○	○		○
東 京	400	○	○		○			○
関 東	610	○	○		○		○	○
横 浜	650	○	○		○	○	○	◎
燕	300	○		○	○			
新 潟	360	○	○		○	○		○
富 山	300	○		○		○		○
浜 松	312	○	○		○			○
中 部	621	○	○		○		○	○
旭	250	○	○					◎
大 阪	678	○	○		○	○		
関 西	642	○	○		○	○		○
神 戸	360	○	○					◎
和 歌 山	303	○	○		○		○	○
山 陰	383	○		○	○			○
岡 山	363	○	○		○			◎
中 国	410	○	○		○		○	○
山 口	313	○	○		○		○	○
香 川	394	○	○		○	○		○
愛 媛	306	○	○					○
九 州	450	○	○		○			○
門 司 セン	250	○		○				
長 崎	350	○	○		○			◎
熊 本	410	○	○		○	○	○	○
合 計	12,767	30	22	10	22	11	9	25

個別病院ごとの診療機能等

	平成23年度業務実績								
	平均在 院日数	紹介率 %	逆紹介 率 %	地域連 携パス	クリニカ ルパス 件数	クリニカ ルパス 適用率 %	患者満足度調査		
							入院総合 評価	外来総合 評価	入外平均 評価(%)
道央せき	19.7	8.1	15.0	1	29	98.0	86.5	69.8	72.9
道 央	18.6	32.5	25.6		84	86.0	87.3	82.3	83.5
釧 路	16.1	63.8	39.4	5	98	85.3	84.9	74.4	77.9
青 森	17.5	51.7	64.5		90	92.7	88.4	75.8	79.0
東 北	13.8	60.1	39.2	7	121	70.3	89.7	77.7	81.8
秋 田	19.1	18.1	12.8		47	93.2	91.6	83.2	86.1
福 島	17.4	80.2	65.1	5	63	84.7	92.6	71.6	79.6
鹿 島	18.1	26.7	32.6		50	100.0	90.8	70.7	75.2
千 葉	11.8	74.1	55.3	5	359	100.0	88.8	71.7	76.9
東 京	15.2	72.1	45.9	1	114	92.0	88.4	76.9	80.4
関 東	14.6	74.5	44.0	7	180	95.6	92.8	82.0	85.9
横 浜	11.3	66.6	36.1	9	212	99.5	90.5	78.8	82.5
燕	20.0	78.3	44.6	1	98	100.0	86.3	73.5	76.1
新 潟	16.5	53.2	39.2	6	160	100.0	88.3	70.8	77.0
富 山	16.0	30.5	17.4	7	87	98.4	82.6	67.6	71.4
浜 松	15.6	73.0	36.4	6	61	63.7	89.3	73.1	77.6
中 部	14.4	62.7	71.8	7	147	65.5	93.2	77.5	81.2
旭	14.5	41.3	23.4	1	54	100.0	89.7	71.6	75.8
大 阪	11.0	76.4	93.4	8	190	90.7	92.0	79.2	84.7
関 西	12.4	69.6	61.7	7	268	65.6	94.0	86.1	89.5
神 戸	17.7	48.6	30.6		57	88.4	96.2	84.5	88.1
和 歌 山	13.3	53.5	54.8	2	112	80.5	95.3	78.0	83.8
山 陰	16.8	56.4	60.4	2	146	100.0	89.9	78.1	82.1
岡 山	16.6	57.0	76.3	2	113	92.8	88.7	79.4	81.4
中 国	14.8	75.0	57.1	2	123	77.2	86.5	76.5	81.4
山 口	16.5	59.0	38.1	2	91	80.6	90.9	75.8	81.3
香 川	13.6	77.6	47.4	8	589	96.3	92.2	72.5	77.8
愛 媛	16.8	33.8	32.8		175	92.6	92.1	69.7	75.3
九 州	15.5	53.4	67.7	2	152	92.9	87.0	86.1	86.3
門 司 セン	19.3	88.7	91.3		48	57.0	89.7	81.1	83.7
長 崎	18.0	64.8	51.8	4	123	96.8	92.1	81.9	85.4
熊 本	14.8	72.3	57.8	7	149	68.8	89.4	75.3	80.9
合 計	14.7	60.9	49.4	114	4,390	86.7	90.5	77.2	81.4

個別病院ごとの診療機能等

	平成23年度業務実績									
	救急患者数		労災患者 比率% (入院)	労災患者 比率% (外来)	労災疾病研究		労働局依頼の意見 書作成・鑑別診断 件数		アスベスト 健診件数	特殊健康 診断被検 者数
	患者総数	(再掲) 救急車搬送 患者数			主任研究 病院	分担・共同 研究病院	意見書作成	鑑別診断		
道央せき	180	135	11.9	8.4		○	87	1		111
道 央	3,253	1,214	14.1	11.0	○	○	130	14	52	1,850
釧 路	4,138	1,565	2.7	6.5		○	182	2	16	439
青 森	5,369	1,064	3.9	3.2		○	33	5	54	417
東 北	5,901	2,309	2.7	5.3	○	○	97		506	1,251
秋 田	1,691	398	2.3	3.1		○	20			170
福 島	4,491	1,758	1.3	3.6		○	20	5	4	350
鹿 島	4,405	1,285	4.5	3.0		○	60		14	288
千 葉	10,335	3,021	1.9	3.3		○	153	1	804	1,652
東 京	8,838	3,518	3.3	4.9	○	○	153		762	1,505
関 東	12,037	5,111	2.0	2.7	○	○	277	5	231	1,019
横 浜	20,963	5,770	1.7	4.7	○	○	226	1	315	900
燕	3,344	1,661	4.5	4.9	○		45		13	119
新 潟	6,456	2,153	3.6	3.0		○	77	3	143	298
富 山	4,372	1,229	3.8	5.8		○	41	7	24	757
浜 松	6,911	3,077	1.4	3.9		○	66		30	441
中 部	12,947	3,773	2.8	7.5	○	○	227		101	912
旭	9,675	1,977	4.3	6.2		○	126		83	1,506
大 阪	4,701	2,216	1.5	2.5	○	○	114	8	377	925
関 西	5,191	2,787	1.4	4.4	○	○	159		1,076	2,071
神 戸	3,365	1,078	1.0	2.5		○	95		27	668
和 歌 山	13,228	3,220	0.7	1.6	○	○	43	2	25	759
山 陰	7,843	2,530	1.6	3.1	○		38	4	82	145
岡 山	8,744	2,466	7.2	6.8	○	○	88	10	2,286	3,200
中 国	12,506	3,379	3.1	5.4		○	15	58	40	1,155
山 口	6,151	1,871	4.1	4.6		○	84	7	67	256
香 川	9,387	3,215	2.6	14.8	○		130		211	7,398
愛 媛	3,198	731	4.6	7.5	○	○	39	21	94	1,021
九 州	8,517	2,349	2.4	4.1	○	○	126	6	663	1,519
門 司 セン	3,124	801	1.4	2.1		○	38		189	433
長 崎	5,009	1,943	4.6	5.2		○	117	6	352	800
熊 本	12,089	3,357	1.8	4.4		○	121	2	11	608
合 計	228,359	72,961	3.0	5.0	15	32	3,227	168	8,652	34,943

個別病院ごとの診療機能等

	平成23年度業務実績				
	臨床研修				専門・ 認定 看護師数 (H24.4.1現在)
	指定条件		研修医 受入数 (H24.4.1現在)	専修医 レジデント 受入数 (H24.4.1現在)	
	基幹型	協力型			
道央せき					2
道 央	○	○		1	3
釧 路	○	○			10
青 森	○	○			4
東 北	○	○	8	3	5
秋 田		○			0
福 島	○	○			4
鹿 島		○			5
千 葉	○	○	6	2	7
東 京	○	○	5	4	13
関 東	○		12	7	14
横 浜	○	○	15	15	15
燕		○		1	6
新 潟	○	○			6
富 山		○			4
浜 松	○	○			3
中 部	○	○	12	13	9
旭	○	○	4	5	6
大 阪	○	○	12	21	17
関 西	○	○	8	12	17
神 戸	○	○	6	11	6
和 歌 山	○	○	1		5
山 陰	○	○	5	1	3
岡 山	○	○	4	1	7
中 国	○	○	4		3
山 口	○	○		1	7
香 川	○	○	4	4	9
愛 媛	○	○			1
九 州	○	○	7	3	6
門 司 セ ン		○			2
長 崎	○	○			5
熊 本	○	○	3		5
合 計	26	30	116	105	209

各労災病院の特色と政策的役割

病 院 名 ()内は開設年月 承認病床数 (H24.6.1現在)	常 勤 医師数 H24.4.1現在	労災疾病等13分野医学 研究における位置付け		◎セ ア ス ベ ス ト 疾 患 ブ ロ ッ ク セ ン タ ー	◎電 話 相 談	◎勤 労 者 心 の 支 援	地域保健医療計画等における位置付け (H24.4.1現在)										地 域 医 療 支 援 病 院	がん 診 療 支 援 病 院	災 害 拠 点 病 院	概ね10km以内の主な公的病 院 (労災病院からの直線距離) ※太字は厚労省所管の国立病 院等	労災病院における特色
		センター 病 院	協力 病 院				4 疾病	5 事業	がん	脳	心	腎	糖	救	災	小					
北海道中央労災病院 (S30. 8) 312	37	○(じん肺)	○(振動障害) ○(アスベスト)	◎									○	○							・じん肺症の診断、治療、リハビリテーションの専門病院として北海道随一の実績 ・北海道における職業性呼吸器疾患の予防、治療及び研究の拠点病院として道内全域から患者受入れ ・「粉じん等による呼吸器疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター）であり、アスベスト疾患ブロックセンターも設置し、地域医療機関と連携しながら、診断、治療、症例収集を実施 ・南空知地域において岩見沢市立総合病院とともに救急の二本柱 ・市内の脳外科専門病院との間で救急患者の相互受入体制を構築
北海道中央労災病院 せき損センター (S30. 8) 157	16		○(せき損)											○							・腎臓損傷、頸髄損傷、外傷性骨折等の整形外科を主体とする外科系病院 ・北海道全域における唯一のせき損センターとして最先端のせき損医療を提供、専門センターとして「腰痛・せき損センター」を ・広域災害など緊急時の患者搬送用として保有しているヘリポートを利用し、年間約50人のせき損患者を受け入れ。 ・地域医療計画において「がん」、「脳卒中」、「回復期」、糖尿病とその他の生活習慣病全般を中心として医療を提供
釧路労災病院 (S35. 1) 500	58		○(振動障害)	○	○	○	○	○	○				○	○				○			・勤労者心の電話相談開設により過労自殺など自殺予防対策を推進するとともに、女性外来を設置して勤労女性の健康管理を推進 ・振動障害についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・充実したリハビリテーション施設をもとに、職場復帰のためのリハビリテーション医療において地域に貢献 ・道東地区における外科、脳神経外科、整形外科領域の中核病院 ・25次救急の実施、24時間応需体制の確立、ドクターヘリへの参加協力等により救急医療・災害医療の面で地域医療に貢献
青森労災病院 (S37. 2) 474	34		○(職場復帰リハ)						○	○	○	○	○	○	○	○	○				・原子力関連施設が立地したところから、放射能被曝担当病院に指定され、原子力関連施設（日本原燃）との患者受入締結施設であり、共同で被ばくを想定した患者受入れの訓練を定期的に実施 ・地域医療計画において「八戸地域を中心とした二次救急医療等において「地域医療ネットワークの中心」として医療を提供しているとの評価 ・青森がん診療連携協議会に参加し、がん診療連携拠点病院と連携
東北労災病院 (S29. 1) 553	89	○(脳・心疾患)	○(物理的因子) ○(アスベスト)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・「業務の過重負荷による脳・心臓疾患（過労死）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」分野についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置し、また災害拠点病院として貢献 ・アスベスト疾患ブロックセンターとして、東北地区のアスベスト診断、治療等に貢献 ・職業性皮膚疾患研究の中核施設として、その研究成果を全国に普及 ・東日本で数少ないバイオクリーンルーム2室を完備した手術室を使用して年間200件を超える人工関節置換術を施行
秋田労災病院 (S29. 1) 250	16		○(脳・心疾患)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					・リハビリテーション医療について県内随一の専門病院であり、運動浴・温泉療法を実施 ・「せき損・腰椎センター」設置し、地域のせき損患者を受入れ ・大館・鹿角医療圏で唯一の障害者病棟保有病院、施設等に対応困難な肢体不自由障害者を受入 ・麻痺患者に対する機能的電気刺激の治療も実施し、地域から頼られる存在
福島労災病院 (S30. 5) 406	33		○(職場復帰リハ)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置 ・放射線測定のための機器を整備し、放射能被曝担当病院で東京電力福島第一並びに第二原子力発電所と「放射線物質による汚染を伴う傷病者の診療に関する覚書」を締結し、定期的に開催される関係機関、地域住民が参加する原子力防災訓練に参加し、医療処置訓練などを実施 ・地域医療計画において「第二次救急医療機関」の指定を受けいわき市の統番制に参加、福島県救急医療情報システムに協力
鹿島労災病院 (S56. 5) 300	23		○(メンタル)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			・鹿島臨海工業地帯及び利根川流域における産業医療のセンター病院 ・勤労者の専門センターとして「背椎・腰椎センター」を設置 ・メンタルヘルス・和漢診療センターを設置し、ストレス性疾患、勤労女性特有の疾患、痛み、しびれを伴う諸疾患に対応 ・昭和57年の鹿島臨海工業地帯で発生した重油脱硫装置の爆発事故への対応により地域からの信頼を高め、平成11年の東海村臨界事故に際しては、健診についての医師団派遣など緊急医療にも実績を残し、災害拠点病院として指定 ・当地域は診療所が5カ所、療養型の病院が1カ所あるのみ、急性期を担える唯一の医療機関
千葉労災病院 (S40. 2) 400	88	○(せき損) ○(アスベスト) ○(両立支援 (がん))		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			・せき損損傷、リハビリテーション、じん肺等の研究や治療に実績 ・アスベスト関連疾患に対応しており、検診のみでなく、医療従事者に対する研修や診断（読影）、治療に関する指導を行い、他の地域の医療機関からの診療依頼も受託 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置、地域医療連携バス作成の中心病院 ・災害医療協力病院として災害拠点病院との連携の下にある
東京労災病院 (S24. 5) 400	73	○(両立支援 (がん))	○(アスベスト)	○	○		○		○									○			・「職場復帰・治療と職業の両立支援（がん）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・広域災害時の緊急時患者受け入れ態勢を整備するとともに、羽田空港への災害時支援でも貢献 ・東京都脳卒中急性期医療・東京都二次救急医療を担う医療機関の指定

病 院 名 ()内は開設年月 承認病床数 (H24.6.1現在)	常 勤 医師数 H24.4.1現在	労災疾病等13分野医学 研究における位置付け		◎セ ス プ ロ ン ク ス タ ー 疾 患	電話 相談 勤 労 者 心 の 疾 患	地域保健医療計画等における位置付け (H24.4.1現在)										地 域 医 療 支 援 病 院	がん 診 療 支 援 病 院	災 害 救 護 病 院	概ね10km以内の主な公的病 院 (労災病院からの直線距離) ※太字は厚労省所管の国立病 院等	労災病院における特色				
		センター 病 院	協力 病 院			4 疾病					5 事業													
						が ん	脳 卒 中	筋 硬 性 萎 縮	糖 尿 病	救 急 患 者	災 害 地 区	周 産 期	小 児	産 婦 科	心 臓 病	腎 臓 病	肝 臓 病							
関西労災病院 (S28. 1) 642	107	○(産業中毒)	○(国立支援 (がん))	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○				○ 国立尼崎病院 (4.4km) ※地域医療支援病院 ○ 国立塚口病院 (3.0km) ○ 国立西宮病院 (4.2km) ※地域医療支援病院 ○ 兵庫医科大学病院 (2.0km) ※地域がん診療連携拠点病院	・産業中毒について、我が国唯一の臨床研究、健診、治療、リハビリテーションを実施し、所属医師の研究論文が化学物質の曝露による産業中毒分野で世界的に権威のある学術誌に掲載され、高い評価を得ており、「化学物質の曝露による産業中毒」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「職場復帰・治療と職業の国立支援（がん）」にも実績があり、乳がんの治療においては圧倒的なシェアを持つ ・地域医療においても、重症治療部（ICU）と循環器重症室（CCU）を有する阪神間の救急施設として貢献 ・兵庫県地域リハビリテーション連携指針に基づき圏域リハビリテーション支援センター、兵庫県肝炎対策においては肝疾患専門医療機関として指定 ・地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「関労クラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献				
神戸労災病院 (S39. 7) 360	48		○(じん肺) ○(アスベスト)	◎	○			○	○	○									○ 社会保険神戸中央病院 (5.6km) ○ 神戸赤十字病院 (1.7km) ※地域医療支援病院 ○ 国家公務員共済組合連合会大甲病院 (3.6km) ○ 神戸通信病院 (0.3km)	・じん肺についての研究、高度専門的医療の提供に実績があり、アスベスト疾患ブロックセンターを設置 ・有害業務従事による職業性疾患の早期発見と予防に早期から積極的に取り組み ・脳疾患・心疾患・腰痛症に対する高度専門的医療の提供にも実績 ・強みである整形外科（筋骨格系及び結合組織の疾患）対象患者は、広域からの紹介も多く当院を含めた近隣3病院の中で約50%のシェアを占めており地域の疾病に対応できる急性期医療を担う ・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・有機溶剤中毒、振動障害の予防、高度専門的医療を提供し勤労者医療に大きな役割 ・地域医療計画において、脳卒中、急性心筋梗塞、骨折を含む各種運動器疾患、糖尿病、小児救急、周産期医療のネットワークにおける高度・専門的治療実施医療機関として位置付け ・全県下を対象とした脳疾患救急医療を実施 ・地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「わろクラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献				
和歌山労災病院 (S41. 6) 303	70	○(働く女性)	○(国立支援 (糖尿病))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○ 和歌山県立医科大学付属病院 (9.4km) ※ 県がん診療連携拠点病院 ○ 日本赤十字社和歌山医療センター (5.9km) ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○ 済生会和歌山病院 (5.5km)	・F S B P %測定機器や振動覚閾値検査機器等特殊機器を保有し、所属医師が行った「振動障害の客観的診断法としてのF S B P %の末梢循環障害の影響についての研究」は、国際振動障害カンファレンスで高い評価を得ており、「振動障害」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・地域医療においても、中枢神経、循環器、消化器、腎代謝、骨・関節症等を5本柱とする山陰地域の中核病院として貢献 ・救急医療では西部域圏における救急医療を担う二次救急医療機関とされており、救急車搬送患者数は近隣病院の中で一番多く地域の救急医療を担っている				
山陰労災病院 (S38. 6) 383	65	○(振動障害)		○	○	○	○	○	○	○	○				○				○ 鳥取大学医学部付属病院 (4.4km) ※ 県がん診療連携拠点病院 ○ 国立病院機構米子医療センター (1.8km) ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院	・所属医師が行った「日本におけるアスベストばく露による悪性中皮腫の臨床像」、「石綿曝露による健康障害」は、米国臨床腫瘍学会等で高い評価を得、アスベストの治療、研究開発において我が国をリードしており、「アスベスト関連疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・じん肺、せき髄損傷、有機溶剤、鉛中毒、振動障害などの研究、高度専門的医療の提供にも実績を有し、岡山市南部地区における勤労者医療の中核病院 ・岡山県脳卒中医療体制に参加、急性期病院として脳卒中の診断・治療及びリハビリテーションの役割を担う ・岡山県南東部の二次救急に参加するとともに内科及び小児科について二次救急軽番制参加				
岡山労災病院 (S30. 5) 363	55	○(アスベスト)	○(じん肺) ○(メンタル) ○(国立支援 (がん))	◎	○		○		○	○							○		○ 岡山赤十字病院 (3.6km) ※ 地域がん診療連携拠点病院 ○ 岡山市立病院 (5.7km) ○ 岡山大学病院 (5.3km) ※ 県がん診療連携拠点病院 ○ 岡山済生会総合病院 (7.5km) ※ 地域がん診療連携拠点病院	・整形外科疾患、脳・循環器疾患に対する急性期からの高度専門的リハビリテーションを実施（中国地方有数のリハビリテーション施設も保有） ・脳・循環器について高度専門的医療を提供し、過労死の予防や早期社会復帰に向けた活動に実績 ・地域医療においても、救急に特色を有し、地域災害医療センターの指定 ・医療計画において「乳がん」「脳卒中」について急性期医療を、「急性心筋梗塞」については急性期から回復期・再発予防までを、「周産期医療」については、比較的高度な医療を行う医療機関として位置付け ・保有しているヘリポートを利用して広域搬送の拠点となる等、県医療圏の二次救急を担う位置付け				
中国労災病院 (S30. 5) 410	71	○(職場復帰/リ)	○(国立支援 (がん))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○ 国立病院機構呉医療センター (4.5km) ※地域医療支援病院 ※ 地域がん診療連携拠点病院 ○ 国家公務員共済組合連合会呉共済病院 (5.5km) ※地域医療支援病院	・リハビリテーション医療施設としては県内最高レベル、早期からメンタルヘルスケアを取り入れた手法を導入するなど先駆的な ・脳・循環器、メンタルヘルスについての研究、高度専門的医療の提供についても実績 ・特殊健診のほか、胃の集団健診、超音波健診等県内全域にわたる健診活動を実施しており、地域の信頼を得るとともに、災害拠点病院としても貢献				
山口労災病院 (S30. 5) 313	44		○(職場復帰/リ) ○(国立支援 (糖尿病))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○ 山陽小野田市市民病院 (1.5km) ○ 山口大学医学部付属病院 (6.7km) ※ 県がん診療連携拠点病院	・「勤労者のメンタルヘルス」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・職場復帰のためのリハビリテーションについても先駆的に取り組み、県下でも中心的存在 ・アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアク（放射線治療機器）を設置 ・香川県が設置する「石綿（アスベスト）疾患診療ネットワーク」において県内唯一の三次医療機関（中皮腫の診断、治療ができるだけでなく、より専門的かつ指導的な拠点病院）として位置 ・香川県が進めている有機的な医療連携体系の中核的医療機関として、地域連携クリニカルパス（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）の導入を促進				
香川労災病院 (S31. 5) 394	61	○(メンタル)		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			○ 坂州市立病院 (5.0km)	・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・勤労者のメンタルヘルス、働く女性のためのメディカルケア、職業復帰のためのリハビリテーションに加えアスベスト関連疾患とその対策に実績 ・離島を含む振動障害巡回健診などを実施し、振動障害に対する専門的医療の提供に実績 ・ICUを持つ救急医療体制、リニアクを有し広範なガン治療に対応など、東予地区の中核病院として地域医療に貢献 ・整形外科、外科、内科領域の職場復帰のための専門リハビリテーションにも実績				
愛媛労災病院 (S31. 6) 306	33	○(働く女性)	○(振動障害)	○			○		○			○							○ 県立新居浜病院 (5.0km) ○ 医療法人住友別子病院 (3.6km) ※ 地域がん診療連携拠点病院	・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・勤労者のメンタルヘルス、働く女性のためのメディカルケア、職業復帰のためのリハビリテーションに加えアスベスト関連疾患とその対策に実績 ・離島を含む振動障害巡回健診などを実施し、振動障害に対する専門的医療の提供に実績 ・ICUを持つ救急医療体制、リニアクを有し広範なガン治療に対応など、東予地区の中核病院として地域医療に貢献 ・整形外科、外科、内科領域の職場復帰のための専門リハビリテーションにも実績				

病 院 名 ()内は開設年月 承認病床数 (H24.6.1現在)	常 勤 医師数 H24.4.1現在	労災疾病等13分野医学 研究における位置付け		◎ア ス ペ ス ト 疾 患 ブ ロ ッ ク セ ン タ ー	電 話 相 談	勤 労 者 の 心 理	地域保健医療計画等における位置付け (H24.4.1現在)										がん 診 療 連 携 拠 点 病 院	災 害 拠 点 病 院	概ね10km以内の主な公的病 院 (労災病院からの直線距離) ※太字は厚労省所管の国立病 院等	労災病院における特色
		センター 病 院	協力 病院				4 疾病					5 事業								
							が ん	脳 卒 中	筋 急 性 萎 縮	糖 尿 病	救 急 患 者	火 災 傷 害	産 科	週 産 期	小 児					
九州労災病院 (S24. 2) 450	79	○(職場復帰)等 ○(物理的因子)	○(振動障害)	○	○		○	○	○	○	○					○	○国立病院機構小倉医療セ ンター(3.8km) ※地域医療支援病院 ○北九州市立医療センター (5.5km) ※地域がん診療連携拠点病院 ○財団法人平成柴川会小倉記 念病院(5.6km) ○特定医療法人北九州病院北 九州総合病院(1.7km)	・リハビリテーション医療の先駆的病院として我が国有数の総合 的リハビリテーション医療を展開(勤労者骨・関節疾患治療研究 センター、勤労者リハビリテーションセンター)し、「職場復帰 のためのリハビリテーション」のセンター病院(労災疾病研究セ ンター)であり、全国にリハビリのノウハウを提供 ・「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」のセン ター病院(労災疾病研究センター) ・職業性外傷、せき髄損傷、筋・骨格系疾患、振動障害について の研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・多人数用の高気圧酸素治療タンクを有し、職業性の潜水病のほ か、CO中毒、突発性難聴、ガス壊疽、末梢血管障害等の治療に実 績を有し、地域医療に大きく貢献 ・北九州市の二次救急医療体制の一角を担うとともに、眼科・耳 鼻咽喉科救急医療体制にも参加、さらに当院から南下隣接する京 筑地区の休日・夜間救急センターとも協力体制を構築		
九州労災・門司メ ディカルセンター (S30. 8) 250	31		○(物理的因子) ○(働く女性)				○	○	○	○	○						○市立門司病院(4.5km) ○社団法人日本海員日本海員 救済会門司病院(1.0km) ○医療法人財団池友会新小文 字病院(7.0km)	・門司港地区の労働災害に対応する等、骨関節疾患等の急性期医 療に実績 ・北九州市の医療計画の中の救急医療体制を支える病院として位 置付けられる等、門司港地区において救急医療をささえる唯一 の総合病院 ・専門センターとして「脳・循環器センター」を設置し、循環 器・脳血管疾患の急性期・慢性期医療を実施		
長崎労災病院 (S32. 5) 350	48		○(筋・骨格系) ○(アスベスト)	◎	○		○	○	○	○	○					○	○佐世保市立総合病院(4.4km) ※地域がん診療連携拠点病院 ○国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院(4.6km)	・じん肺についての高度専門的医療を提供するとともに、アスベ スト疾患ブロックセンターを設置し、検診のみでなく、医療従事 者に対する研修や診断(読影)、治療に関する指導を行い、他の ・県北部における整形外科の脊椎領域でのセンター的病院である とともに、脳・循環器についても高度専門的医療の提供に実績 ・脳卒中に係る高度な治療が可能な医療機関として、佐世保地域 医療圏で唯一、「高次脳卒中センター」の認定を受ける等長崎の 外科系基幹病院として地域に貢献 ・地域医療においても、脊椎領域について地域から信頼を得てお り、ドクターヘリ等により離島地区から患者搬送を年間24件受け る等、県北部及び佐賀県西部地域の基幹病院として貢献		
熊本労災病院 (S29. 2) 410	68		○(振動障害) ○(両立支援) (糖尿病)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○健康保険八代総合病院(2.6km)	・業務負荷による脳・循環器疾患について実績を有し、予防から 早期発見、早期治療及び治療後の早期社会復帰に向けた活動を展 ・振動障害についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機 器)を備え、病気とつきあひながらの職場復帰の活動に取組む とともに、アスベスト関連疾患にも対応 ・地域医療においても、熊本県南地域の中核的医療センターとし て同地域の救急医療を担うとともに、災害拠点病院として地域か ら頼られる存在		

(注)協力病院は分担研究者及び共同研究者を有する病院を計上している。